

第326回

日文研フォーラム

講師◎王 海燕

浙江大学人文学院歴史系(中国) 教授 / 日文研 外国人研究員

古代日本の国際交流における動物の贈答
——ラクダ・羊を中心に——

コメンテーター◎伊東 貴之 日文研教授

司会◎呉座 勇一 日文研助教

2019年2月12日(火) 十四時〜十六時(開場十三時四十分頃)

ハートピア京都3階大会議室

入場無料・先着一八〇名まで

申込不要(十三時十五分頃より整理券配布)

International Research Center for Japanese Studies

The 326th Nichibunken Forum

主催: 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター



日文研フォーラム

古代日本の国際交流における動物の贈答

ーラクダ・羊を中心にー

On Animal Gift Giving in the International Relations of Ancient Japan

古代日本の国際交流では、しばしば動物の贈答が行われました。文献史料によれば、六世紀から十二世紀にかけては、中国や朝鮮半島から日本列島にもたらされた舶来動物は、馬・ラクダ・ロバ・ラバ・羊・クジャク・オウム・犬・ガチョウ・黒猫など多種多様でしたが、日本列島からの舶出動物の種類は主に馬・牛でした。

本発表では、ラクダや羊の贈答を中心に取り上げ、贈与側の意図や、受け取った日本側の対応を検討しながら、東アジアの国際交流において動物が果たした役割を捉えてみたいと思います。

講師 王 海燕

浙江大学人文学院歴史系(中国)教授／日文研 外国人研究員



2004年国学院大学にて博士号(歴史学)取得。浙江大学人文学院歴史系専任講師・副教授を経て、2015年より現職。2014年から2015年に国際交流基金日本研究フェローシッププログラムにより、東京大学史料編纂所外国人研究員を併任。2018年5月より国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。

専門分野は日本古代史、古代日中関係史。主な著作に『古代日本の都城空間と礼儀』(浙江大学出版社、2006)、『日本古代史』(昆仑出版社、2012)、『日本平安時代の社会と信仰』(浙江大学出版社、2012)などがある。

コメンテーター 伊東 貴之 日文研 教授



早稲田大学政治経済学部、同・第一文学部東洋哲学専修卒。東京大学大学院人文科学研究科中国哲学専攻博士課程修了。博士(文学)。武蔵大学人文学部教授などを経て、2010年より現職。

専門分野は、中国近世思想史、日中比較文学・思想、東アジア文化交流史。主な著書に『思想としての中国近世』(東京大学出版会、2005)、『中国近世思想的典範』(楊際開訳・徐典慶校閲、台湾大学出版中心、2015)、『中国という視座』(溝口雄三・伊東貴之・村田雄二郎による共著、平凡社、1995)、『「心身／身心」と環境の哲学——東アジアの伝統思想を媒介に考える』(編著、汲古書院、2016)、『治乱のヒストリア——華夷・正統・勢』(編著、渡邊義浩・林文孝との共著、法政大学出版局、2017)などがある。

日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)が、来日中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、共有していただくことを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2

TEL: 075-335-2078

<http://www.nichibun.ac.jp/ja/>

京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「烏丸丸太町」バス停下車